

家庭クラブ通信

2023.5.9 第1号 文責 3C 佐々木心優

☆小学生に読み聞かせ

ムラサキの種から芽が出るまでの間、郷土の童話作家・宮澤賢治の「紫根染について」の読み聞かせをペープサートを取り入れて行いました。12月27日の平館学童での読み聞かせでは、小学生13名、高校生11名が参加しました。小学生の感想では分からない所もあったようでした。読み聞かせサークルの佐々木さんに伺うと、賢治さんの表現は低学年には難しい表現もあります。分かりやすい表現に直すとよいとお話でした。再度3月30日に寺田学童で読み聞かせを行ったところ、小学生10名、高校生9名の参加があり、「よくわかった」という回答が大半を占めました。表現をわかりやすくした成果だと思いました。



平館学童での読み聞かせの様子



佐々木さんにアドバイスもらう



寺田学童での読み聞かせの様子



ペープサートを使ってわかりやすく



どっぴきでふれあいタイムの様子



だるまさんがころんだ！

☆ムラサキ(紫草)の生育観察

昨年9月28日に、PTA・同窓会の皆さんと有志並びに家庭クラブ員で調理室前花壇に植えたムラサキ(紫草)の生育観察をしました。3月25日に発芽が確認され、双葉が出て順調に成長してきて、現在は葉が4枚になりました。双葉が広がった大きさは1cm程でとても可愛らしいです。市内の小学校や盛岡農業高校の生徒さんに植えてもらったムラサキ(紫草)も芽が出ていました。また、ムラサキ(紫草)の芽を数えたところ、1200粒播いて現在710個の芽が出ており、発芽率は59%という結果でした。これからもムラサキ(紫草)の成長を楽しみに観察していきます。今後はその苗から再びムラサキ(紫草)の咲き誇る里にしたいと思います。5月2日には、10cmほどに成長したムラサキ(紫草)を植栽する畑を作りました。同窓会の方に耕運機で耕していただき、培土は、地元の三研ソイル(株)さんから寄贈されたものです。これらが耕した畑に入れられ、ムラサキ(紫草)の植栽を待っています。



3月25日芽が出ました。



3月31日

種の殻付き双葉を見つけました。



現在も、順調に成長しています。



同窓会の方に耕運機を稼働してもらいました。

畑を耕している様子

畑ができました！